

宇部工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	国語Ⅱ A	
科目基礎情報							
科目番号		32001		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科		制御情報工学科		対象学年	2		
開設期		前期		週時間数	2		
教科書/教材		「精選現代文B 改訂版」(三省堂)、「精選古典B 改訂版」(三省堂)、「ステップアップ高校漢字問題集」(東京書籍)、「カラー版新国語便覧」(第一学習社)					
担当教員		赤迫 照子					
到達目標							
①読む力：文法事項を理解し、作品を読解できる。常用漢字が読める。 ②書く力：授業の内容をノートにまとめることができる。論理的な文章が書ける。常用漢字の書き取りができる。 ③話す力：適切に音読できる。根拠を明示しながら自分の意見を述べることができる。 ④聞く力：授業のポイントを的確に聞き取り、情報を整理できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安		
評価項目1		文章の論理を的確に把握し読解できる。常用漢字の読み取り問題が8割以上できる。	文章の論理を把握し読解できる。常用漢字の読み取り問題が7割できる。	文章の論理の把握は不十分であるが、読解できる。常用漢字の読み取り問題が6割できる	作品を読解できない。常用漢字の読み取り問題が6割以下である。		
評価項目2		授業内容をノートにまとめ、適宜見直すことができる。段落同士の関係を意識した、論理的な文章が書ける。常用漢字の書き取り問題が8割以上できる。	授業内容をノートにまとめることができる。論理的な文章が書ける。常用漢字の書き取り問題が7割できる。	授業内容をノートにメモをすることができる。論理的な文章を書くために必要なことが説明できる。常用漢字の書き取り問題が6割できる。	授業内容をノートにメモすることができず、板書も写せない。論理的な文章を書くために必要なことが理解できていない。常用漢字の書き取り問題が6割未満である。		
評価項目3		文のリズムを意識しながら適切に音読できる。根拠を明示し、説明手順を意識しながら自分の意見を述べることができる。	適切に音読できる。根拠を明示しながら自分の意見を述べることができる。	音読ができる。自分の意見を述べることができる。	音読ができない。自分の意見を述べるができない。		
評価項目4		授業のポイントを的確に聞き取って情報を整理し、ノートのまとめ作業に繋げることができる。	授業のポイントを的確に聞き取り、情報を整理できる。	授業のポイントを的確に聞き取ることができる。	授業のポイントを聞き取ることができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		第1学期開講。 検定教科書を使用し、現代文・古文を学習する。					
授業の進め方・方法		教科書本文を読解する。内容理解のためにプリントを配付する。					
注意点		①提出物については、厳しく対応する。締切を厳守すること。 ②授業中、プリントを配付する。ファイルを準備し、整理しておくこと。 ③漢字テストは「小テスト」として評価する。					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス (評論1) ①			清岡卓行「ミロのヴィーナス」を読み、評論文を読む方法を身につける。	
		2週	(評論1) ②			評論文を読む方法を身につける。	
		3週	(評論1) ③			評論文を読む方法を身につける。	
		4週	(説話) ①			説話を読解し、古典文学の鑑賞方法を身につける。	
		5週	(説話) ②			古典文学の鑑賞方法を身につける。	
		6週	(説話) ③			古典文学の鑑賞方法を身につける。	
		7週	(説話) ④			古典文学の鑑賞方法を身につける。	
		8週	(評論2) ①			岩井克人「未来世代への責任」を読み、評論文を読む方法を身につける。	
	2ndQ	9週	(評論2) ②			評論文を読む方法を身につける。	
		10週	(評論2) ③			評論文を読む方法を身につける。	
		11週	(評論2) ④			評論文を読む方法を身につける。	
		12週	(和歌) ①			和歌を読解し、鑑賞できる。	
		13週	(和歌) ②			和歌を読解し、鑑賞できる。	
		14週	古典文学史			古典文学の基礎知識を習得できる。	
		15週	定期試験				
		16週	試験返却・解説			学習の総まとめをする。	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3		
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3		

			文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。	3	
			常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
			類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
			社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
			課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	2	
			相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
			新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	2	

評価割合					
	試験	レポート	小テスト	口頭試問	合計
総合評価割合	70	15	10	5	100
知識の基本的な理解	50	10	10	5	75
思考・推論・創造への適用力	10	5	0	0	15
汎用的技能	10	0	0	0	10